

## 平成 24 年度 細江あすなろ作業所事業報告

### 1. 利用状況

平成 25 年 3 月 31 日の利用状況は以下の通りである。

\*利用者の状況 利用者 17 名 (男 11 名 女 6 名)

\*開所日数 254 日

年齢区分

	利用者 (名)	
	男	女
60代	1	1
50代	2	0
40代	1	1
30代	4	1
20代	3	3
10代	0	0
合計	11	6

平均年齢 33, 6 歳

### 2. 作業状況

①下請作業 昨年度と同量の作業を受けることができた。

- ・エイテック (有) 自動車部品の組み付け
- ・エステック (有) 自動車部品の組み付け
- ・ティージー (株) オートバイ部品 (鍵) の組み付け
- ・丸博 自動車部品の組み付け
- ・鈴代商店 (株) レトルド食品の袋入れ
- ・とんきい レトルト食品の袋入れ
- ・野澤政務調査事務所 機関紙の封筒入れ

②自主製品 ・せっけん作り

・ぼかし

③その他 ・アルミ缶の回収

#### 【自主製品の販売】

①販売方法

- ・作業所
- ・イベントにての販売

気賀高広岡祭・ふれあい広場・ほのぼのマーケット・農協祭

②委託販売

細江町社協・三ヶ日町社協・奥浜名湖商工会・船越造園・咲夢茶店  
・ささゆりの里・とんきい・テンコム・とも浜松

### 3. 利用者の状況

平成24年度の活動については、日中活動が単調にならないよう、目新しいプログラムを取り入れながら、利用者が楽しめる活動に努めた。午前には前年度に引き続き生産活動を行い、個々の能力にあった生産活動の中で作業に必要な集中力や持続力、技術、知識が習得できる支援をおこなった。午後は気分転換、体力づくりを中心とした活動をおこなった。主に散歩を中心とした活動だが、月1回インストラクターによるヨガを取り入れた。また、芸術の面、特に音楽活動に力をいれ、月1回講師をよび音楽療法を取り入れるなかで自己表現を豊かにする試みを行った。音楽活動、体力づくりの延長線上にダンスも取り入れ、それらを発表する機会をもうけることで、協調性もうまれた。

体重の増加が目立つなか、個々に応じてカロリー控えめの給食の提供。衛生面でも、インフルエンザ、ノロウイルスが流行するなか、手洗いの習慣がついていない、ついていたとしても手を濡らす程度で終わってしまう人が多いなか、手洗いがしっかりできるよう支援をした。また、手洗い後のハンカチ・タオル類の衛生にも留意し、毎日清潔なものを持てるよう支援した。お蔭で罹患した利用者はいなかった。

防災に関する意識も引き続き高まる中で、6月の法人合同の防災訓練では家族への引渡しに困難な場合を想定して夜間の宿泊訓練を大山ファームで行った。

また、12月の地区の防災訓練にも参加した。

平成25年3月に1名新しい利用者を迎えた。